

平成19年度科学研究費補助金実績報告書 (研究実績報告書)

1. 機関番号 3 2 6 9 2      2. 研究機関名 東京工科大学
3. 研究種目名 萌芽研究      4. 研究期間 平成19年度～平成20年度
5. 課題番号 1 9 6 5 0 0 4 5
6. 研究課題名 漫才の<笑い>に潜むオープンコミュニケーション構造の記述とモデル化

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
2 0 3 5 0 5 0 6	<small>フガナ</small> イダ、ヒトシ 飯田、仁	メディア学部	教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
3 0 4 2 4 3 1 0	<small>フガナ</small> オカモト、マサシ 岡本、雅史	片柳研究所	客員准教授
2 0 3 8 6 7 7 5	<small>フガナ</small> オオバ、マサト 大庭、真人	メディア学部	助教
1 0 4 5 4 1 4 1	<small>フガナ</small> エノモト、ミカ 榎本、美香	片柳研究所	嘱託研究員
	<small>フガナ</small>		
	<small>フガナ</small>		

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

平成19年度は、市販されている漫才のDVDのうちベテラン漫才師1組・若手漫才師コンビ1組の映像・音声情報を用いて、漫才師の視線および姿勢が聞き手である観客に対し、ボケ役とツッコミ役でそれぞれどのように割り振られるかを分類し、そのパターンについて考察しモデル化を行った。視線と姿勢が不一致の場合、視線が直接の発話の受け手を指向するのに対し、姿勢が発話の真の受け手である観客をより指向するというオープンコミュニケーション構造を記述する上で端緒となる知見を得ることができた。これはエージェントを用いた教育システムなどへの適用が可能であり、エージェント分野の研究にも寄与しうるものである。

さらに、当大学のホールにて若手新人のお笑い漫才師に、観客がいない条件および観客がいる条件とで実際に収録を行った。さらに立ち話およびインタビューの映像も収録し、漫才に特有の立ち位置や間などについてのデータを収集した。これら予備的なデータ収集に加え、芸能プロダクションより推薦を受けたプロの若手漫才コンビ2組に観客がいない条件という条件でそれぞれ2本ずつ漫才を行ってもらい、映像・音声データを収集した。この際、観客も50名規模で行いより通常の漫才口演に近い条件で収録することができた。このように本年度後半は翌年度、漫才師間のインタラクションや、観客の反応、漫才師と観客とのインタラクションといった側面からオープンコミュニケーションの構造を記述・検討するためのデータを集めることに専念した。

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

- (1) 漫才      (2) 笑い      (3) オープンコミュニケーション
- (4) モデル化      (5)      (6)
- (7)      (8)      (裏面に続く)

11. 研究発表（平成19年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（0）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

〔学会発表〕 計（2）件

発表者名	発表標題		
岡本雅史 他2名	〈オープンコミュニケーション〉としての漫才対話 - 参与構造の動的変化を生み出すことばと身体との相互作用		
学会等名	発表年月日	発表場所	
第20回社会言語科学学会研究大会	2007年9月16日	関西学院大学西ノ宮上ヶ原 キャンパス	

発表者名	発表標題		
岡本雅史 他4名	対話型教示エージェントモデルのための漫才対話の オープンコミュニケーション構造の分析		
学会等名	発表年月日	発表場所	
合同エージェントワークショップ&シンポジウム2007 (JAWS2007)	2007年10月29日	沖縄コンベンションセンター	

〔図書〕 計（0）件

著者名	出版社		
書名			発行年

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--